



球錦建第1113号  
平成19年5月1日

国土交通省道路局長 様

熊本県錦町長 森本 完



中期的な計画の作成にあたっての意見（回答）

平成19年4月2日付、国道企第114号で依頼のあった標記の件について、  
下記のとおり回答します。

#### 記

- 今日の車社会において、都市部と地方部における道路網の整備についての格差は歴然としている。

このことは、双方の産業経済の動向からしてやむ得ない面もあるが、車社会の現状は都市も地方も変わらないのである。

むしろ地方部においては、他の公共機関による交通手段は少なく、その上道路の幅員が狭く拡幅等整備の遅れが目立ち交通渋滞を誘発しているのが最小限右折車線の設置や歩道の整備も急務と考える。国民が等しく安心安全に暮らせる交通社会を構築するためにも是非考慮いただきたい。

- 地方において、道路の新設と維持管理（補修等）を比較した場合、近年の財政事情を考慮したとき、維持管理を優先せざる得ないことは申すまでもない。

その額も、時代の変遷とともに増嵩傾向にあり大変苦慮している。

そこで、道路の新設については国の支援策（補助金、交付金）が完備されているので有り難いが、維持管理については支援策が見当たらないので是非考慮していただきたい。